

4 / 1 0 (水) の発表

報道発表資料の配付日時 4 / 1 0 (水) 1 5 時 0 0 分

発表項目	感染性胃腸炎患者等の発生について (速報)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概要	別紙のとおり ■速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について、速報するもの) 滝川保健所 介護保険施設 14名 ……別紙1 北見保健所 保育所 26名 ……別紙2		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク	滝川、北見保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当：高橋) 電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506) (ダイヤル) 011-204-5253		
-------------	---	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

平成31年4月10日(水) 15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

平成31年4月9日(火)、滝川保健所管内の介護保険施設において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

平成31年4月3日(水)に、滝川保健所管内の市役所から、複数の者が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

滝川保健所管内の介護保険施設の利用者9名及び職員5名の計14名が、3月30日(土)から4月6日(土)にかけて、下痢、おう吐、発熱などの症状を呈し、うち8名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)

3 現在の症状

4月10日(水)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

3月30日(土)～4月6日(土) 下痢、おう吐、発熱などの有症者発生
 4月3日(水) 滝川保健所管内の市役所から保健所に通報
 4月3日(水) 医療機関において有症者のうち3名の便を検査した結果、3名全員からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

滝川保健所では、当該介護保険施設に対し、利用者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、滝川保健所においても、本日15時00分に資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【ノロウイルスによる道内の集団感染性胃腸炎の発生状況 4月10日(水)現在】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	148	44
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	3,019	869

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

感染性胃腸炎患者等の発生について

平成31年4月10日(水) 15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

平成31年4月9日(火)、北見保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 1 探知
 平成31年4月8日(月)に、北見保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員がおう吐、下痢等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。
- 2 発生の概要
 北見保健所管内の保育所の園児25名及び職員1名の計26名が、4月2日(火)から4月8日(月)にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち12名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)
- 3 現在の症状
 4月10日(水)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 4 経過
 4月2日(火)～8日(月) おう吐、下痢、発熱などの有症者発生
 4月8日(月) 保育所から保健所に通報
 4月2日(火)～8日(月) 医療機関において有症者のうち4名の便を検査した結果、全員からロタウイルスを確認
- 5 感染経路
 現在調査中
- 6 対応
 北見保健所では、当該保育所に対し、園児の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- 7 その他
 この件については、本日15時00分、北見保健所においても、資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。>

ロタウイルス感染性胃腸炎とは

ロタウイルスは乳幼児下痢症の原因ウイルスとして広く一般に知られています。ロタウイルスの人への感染は、ヒトとヒトとの間で起こる糞口感染です。汚染された水や食物などを触った手からウイルスが口に入って感染が成立する可能性もあります。感染のピークはピークは春先に認められますが、一年を通して発生がみられます。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)、腹部不快感
 潜伏期間：通常48時間
 経過・予後：通常1～2週間以内で回復、予後は良好

【道内の集団ロタウイルス感染性胃腸炎の発生状況 4月10日(水)現在】

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数(件)	13	18	11	6	11	4
有症者数(人)	233	393	206	113	170	131

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)